

仲山城跡(秩父郡長瀨町)

築城年代:正和元年(1312年)、築城者:阿仁和基保

仲山城跡へはここを進んでいく/右手に行き先案内表示がある



古びた行き先案内表示



その右手前方の山頂(写真の正面)が仲山城跡のようだ



その山頂をアップで見たところ/東屋の屋根が見てとれる



これがその東屋(休憩所)の屋根



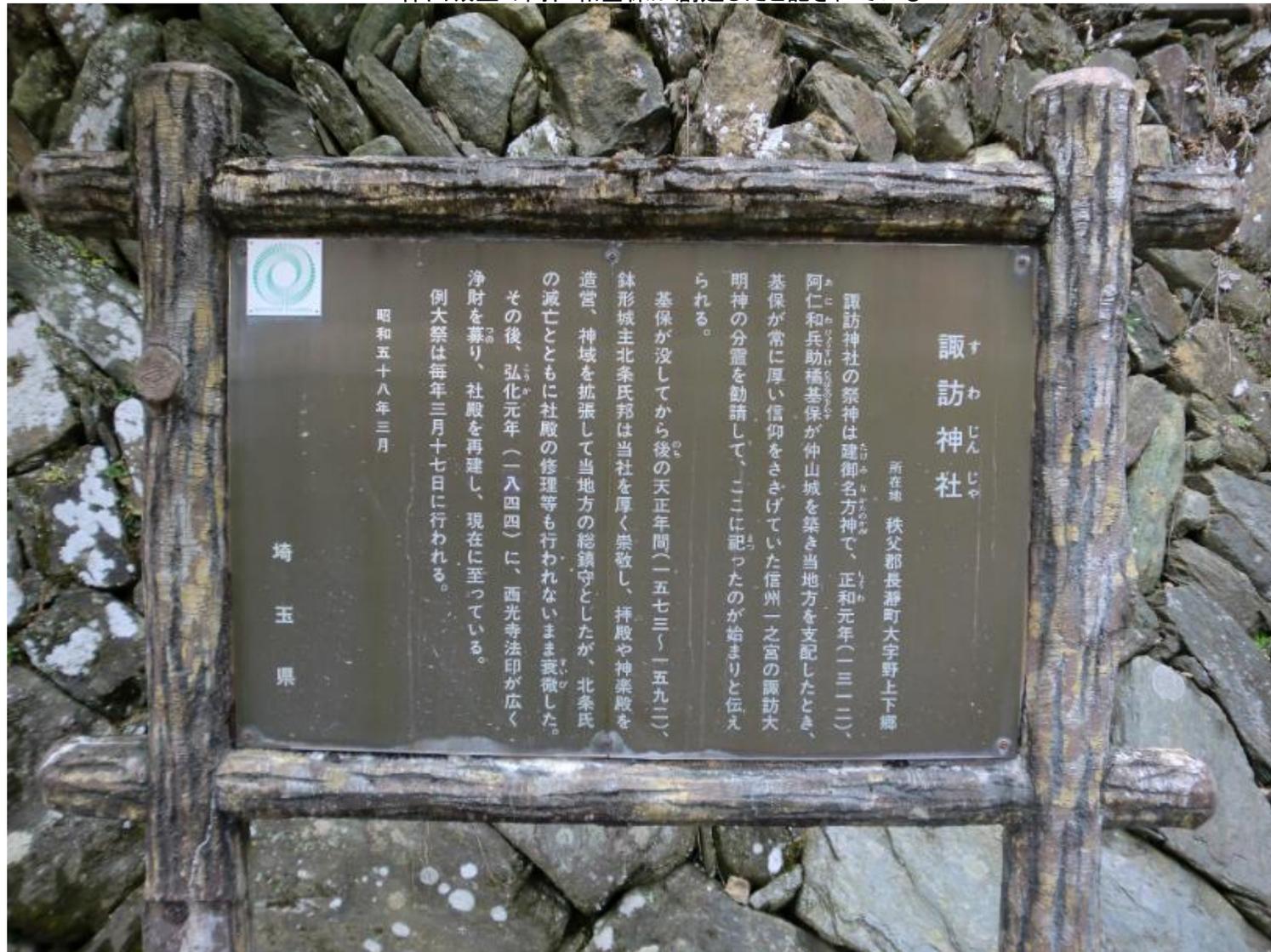
さて、道を進むとすぐ左手に諏訪神社がある



社殿は改修中のようだ(足場にシートが架かっている)



仲山城主の阿仁和基保が創建したと記されている



現在の社殿は弘化元年(1844年)の再建のようだ



さて、道を進むと行先案内表示があり、左手に進む



その先に「仲山城趾約436m」という、いやに詳しい行先案内表示があり、ここを左手に折れていく



この坂を登って行く/右下は墓地になっている



この先、道は左手にカーブしているが、正面右手に行先案内表示がある/左手の斜面には石碑が立っていた



これがその石碑/「道路改良記念」の碑のようだ



行先案内表示には、これまた詳しい「仲山城跡入口約238m」と記されている



カーブした道を行かずに、行先案内表示に従って正面の山を登って行く/僅かに踏み固められた跡がある



段々と尾根づたいとなって行く



右下を見たところ



左下を見たところ



少し右手に折れていく



更に進む



ここからまた登り坂



正面に高まりが見える



その高まりの右側を抜けると平場になっており、そのずっと先には更なる高まりが見える



その平場から先を見たところで、堀切を挟んで先の高まりが見える



堀切を見下ろしたところ



その堀切に下りて左手(北東方向)を見たところ



振り返って右手(南西方向)を見たところ



堀切の右手から先の高まりへ進む



ここも平場となっており、二の郭のようだ/その先には麓から屋根が見えた東屋が建つ



振り返って先程の堀切を見下したところ



さて、東屋のあるところへ登ってみよう



これが東屋(ふるさと歩道の休憩所)で、この平場が本郭



東屋の左手は高まり(土塁)があり、手前に説明板が立っている



仲山城跡

所在地 秩父郡長湊町大字野上下郷

仲山城は、前方を荒川の急崖に面し、後方に陣見山山系が囲む、標高二六七メートルの山頂の要害地に築城された山城である。

この城は、正和元年（一三一二）、もと北面の武士阿仁（あに）和兵衛（わへい）橋基保（はせもと）が京都に在任中、神のお告げを受けて一族郎党（らうたう）を引き連れ関東に移り、新田義貞（しんたにぎせい）の配下（はいか）となって当地に城を築いたと伝えられているもので、基保の長女は能登時国（ののとときくに）に嫁し、長子直家（ちか）は父の跡を継いで仲山城二代目の城主となったが、侍女との恋のもつれから、武蔵秋山城（つぎやま）主秋山新九郎（あきやま しんくわ）総照（すべあき）に攻められ、延文二年（一三五七）、城前の荒川河原で討死したといわれている。
今も城跡をめぐれば、経塚、御殿池、馬廻、樋ノ口などの地名が残り、当時を偲ぶことができる。

昭和五十八年三月

長湊町

土塁の上には幾つもの石造物が並んでいる



こんな感じ







塞利文天

金目仁三様大権持

その向こう(東方向)は急峻な崖となっている



振り返って見たところ



東屋内から登って来た北西方向を見たところ



同じく南西方向を見たところ/麓が見える



同じく南東方向を見たところ



さて、これはその南東方向の見下ろしたところで、なだらかな平場となっている/三の郭らしい



こんな感じ



その先は堀切となっている



堀切に下りて左手を見たところ



同じく右手を見たところ



これは二の郭、本郭方向を見たところ



さて、その先はなだらかに下っている



こんな感じ



その辺りから振り返ったところ



参考ホームページ

<http://iyokakuzukan.la.coocan.jp/002saitama/051nakayama/nakayama.html>

<http://www.water.sannet.ne.jp/u-takuo/nakayamazyou.htm>

<http://gr1rsk.blog.so-net.ne.jp/2006-05-05-2>

http://blogs.yahoo.co.jp/lunatic_rosier/62422322.html

<http://www.geocities.jp/tsukavan0112/ioukan-saitama/nakayama-iou-nagatoromati-2005-12-19/nakayama-iou-nagatoromati-2005-12-19.html>

http://53922401.at.webry.info/201409/article_28.html

